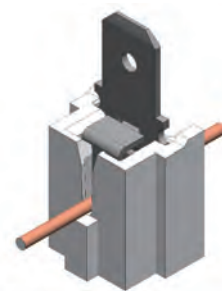


モータ用アルミ巻線対応 187型圧接端子



特徴

- 接続と同時にマグネットワイヤの皮膜を除去。
- 銅線に劣らぬ安定した接続を維持。

▶銅に比べ重量・コストともに低減されるアルミ線なのに大きく実用化に至らない課題とは

アルミ接続の課題

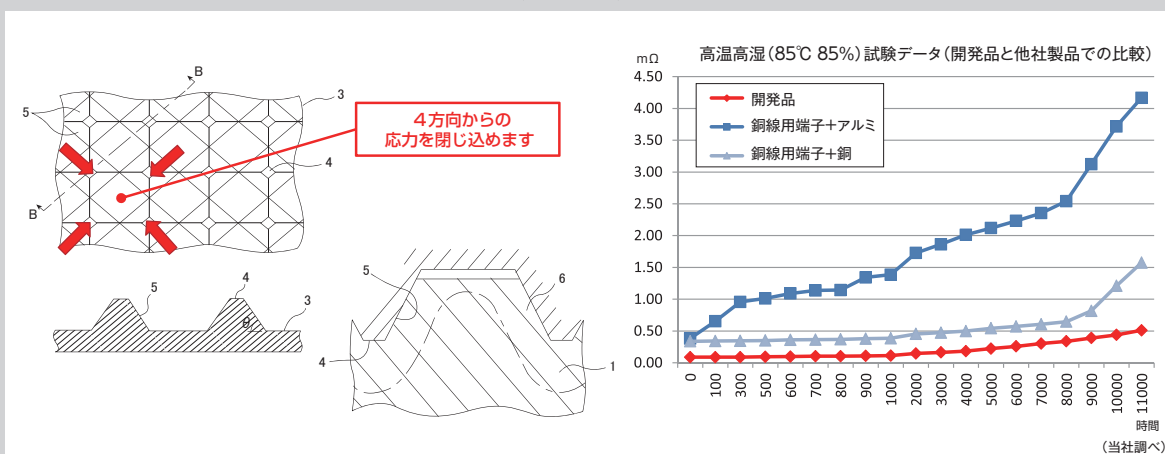
- ① 酸化速度が速くはんだ付け加工が困難
- ② 圧着・圧接後の締め付け強度の低下
- ③ 締め付け強度低下により合金層が維持出来ない
- ④ 合金層が維持できない事による異種金属材料間の電位差による電解腐食発生

▶年月をかけて常温で生じる締め付け強度の低下(応力緩和)を防止するメカニズムが必要

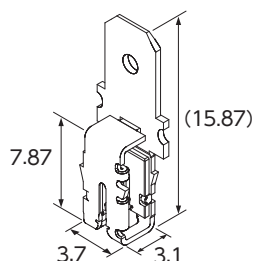
応力緩和防止メカニズム

特許番号:特許第 5552450号

応力の高くなった部位を他の緩慢な部位と遮断し、閉じられた領域に応力を集中することで、他金属との接触界面への反発力(内部応力)を維持させ、合金層を形成させます。



図に示す凸部材がアルミ材に食い込むことで、反発力を生み、接触部の合金層を維持します。



製品番号	表面処理	材料	アルミ導体径 (mm)
98016-22	すずめっき	銅合金	φ1.3
98014-22	すずめっき	銅合金	φ1.0
98013-22	すずめっき	銅合金	φ0.85

《推奨キャビティ図》

